



GUNMA KOKYO GAKUDAN
群響の生演奏に1,000人が酔いしれる

先月13日(日)、岩室村民体育館で群馬交響楽団フルメンバーと岩室中学校吹奏楽部の共演で「第2回いわむろふれあいコンサート」が開催されました。群響を招いてのコンサートはこととして二回目。昨年は同楽団メンバー5人を招いてのミニコンサートでしたが、詰めかけた村民はその音色のすばらしさに感激。こんなすばらしいものならぜひ来年はフルメンバーでのコンサートをと希望が殺到。それに応えて、ニュータウンゼミナー生を中心に「いわむろ群響を呼ぶ会」が結成され、今回の群響フルオーケストラによるふれあいコンサートが実現しました。当日は、群響フルオーケストラによる演奏会とあつて、村内をはじめ近隣市町村からも大勢の人たちが詰めかけ館内はもう超満員。岩中吹奏楽部を幕開けに演奏会が始まり、群響楽団が登場するころには場内の雰囲気も最高潮。次から次へと披露される名演奏に1,000人を超す聴衆もうっとり。群響の華麗で迫力ある生演奏をたっぷり楽しみました。

おらがむらにオーケストラがやってきました



1,000人を超す聴衆も生演奏の迫力に思わず引き込まれる。

ソリスト篠崎史紀さんのバイオリン演奏の音色にうっとり。



今回のコンサートの仕掛人「いわむろ群響を呼ぶ会」会長の徳永豊一さん

大聴衆に大満足

今回のふれあいコンサートには、村内をはじめ村外からも大勢の皆様からおいでいただき本当にありがとうございました。皆様には、群響フルメンバーによる演奏を心ゆくまで楽しんでいただけたことと思います。なお、コンサート開催にあたりましては大勢の皆様からご協力いただきましたことを心からお礼申し上げます。

クラシックの世界を直接体験

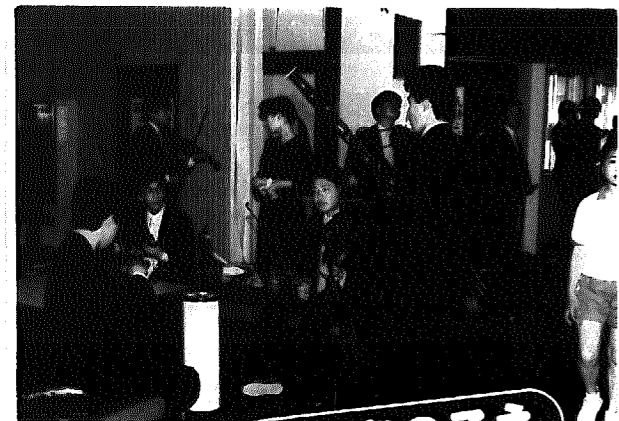
今回のふれあいコンサートは、まず岩中吹奏楽部が「ウォバッシュ地方の伝説」「紅」「小組曲」の三曲を披露、続いて川本統脩さんの指揮で群響が「軽騎兵・序曲」「ツイゴイネルワイゼン」など五曲を演奏。最後は、皆さんにも馴染み深い曲ベートーヴェンの交響曲第五番「短調」「運命」の作品67で締めくくられ、二時間にわたる演奏会が終了しました。ほんとうにたくさんの聴衆を魅了した今回のふれあいコンサート。参加者からは「いやあ、群響の迫力にはびっくりしました。すばらしいのひとことですね」とある三十代男性。又、吉田町から訪れた主婦は「こんな身近で、すばらしい生演奏が聞け本当に感動しました」と嬉しそうに話していました。このようにコンサートに訪れた人たち、その演奏のすばらしさと迫力には、どの顔も大満足といった感じの一日でした。



群響オーケストラに負けじとはりきって演奏する岩中吹奏楽部

大反響を呼んだコンサート開催の立役者

ところで、今回のコンサートが大成功をおさめた陰にはいろんな苦勞もありました。まず第一に群響への折衝、第二に会場、音響の問題、それにクラシック演奏会で、はたしてどれくらいの人たちが集まってくれるかなどいろいろありました。でもそこは群響を呼ぶ会のメンバーたち、昨年の実績と何回にもわたる打ち合せでそれらを解決、見事コンサート開催にこぎつけました。こんな苦勞もあった同コンサート、でも当日の大聴衆にスタッフたちも大喜び。「今回は小さな子どもたちからお年寄りまでたくさんの人たちが喜んでいただき本当にうれしいですね。これを機にこれからも定期的にやっていたらいいですね」と、今回のコンサートの成功を喜ぶスタッフたちでした。



来場者のこえ

すばらしい演奏に感激

今回はチケットをいただきコンサートに来ました。曲目も知っているものが多く、それに何んといっても演奏のすばらしさに驚きました。今度は、生まれてくる子どもと一緒にコンサートへ行きたいですね。



真島真里子さん(石瀬)



芳賀晴美さん(岩中2年) 小林里江さん(岩中2年)

群響の迫力はさすが

群響の演奏はさすがに感じてですね。音のすばらしさ、響き、それに生演奏の迫力にはほんとうに圧倒されました。

生演奏をたっぷり堪能

子どもが吹奏楽をやっているもので、ぜひ聞かせてやろうと思い一緒に来ました。フルメンバーでの生演奏が聞けて本当にうれしいです。それにこのような文化的な催しはすばらしいことですね。



燕市から親子で訪れた清水さん



この日を待たわびたクラシックファンで館内は超満員